

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

「みんなのへや」
夏休みの様子

ワールド・ビジョン・ジャパンが日頃から行っている子どもの居場所「みんなのへや」を、夏休み中は時間・回数ともに拡大して開催しました。2か所で合計8回開催し、のべ77名(子ども62名、おとな15名)が参加しました。8月末には夕涼み会も行い、子どもたちのさまざまな思い出作りのお手伝いをしました。



©World Vision

スタッフと一緒にかき氷をつくる様子

～初めてのことがたくさんできた夏休み～



©World Vision

ランチクッキング(ピザトースト)

今回も春休みに好評だったランチクッキングを実施しました。「みんなのへや」では普段から子どもたちが自分の好きなものを自分で選べる楽しさを大切にしています。今回のランチクッキングでも好きな具を選ぶメニューを中心に考えました。おにぎらずやピザトーストなど、大好きな具材を山盛りにしてたくさん食べてくれました。また、中でも好評だったのは、おやつ時間に提供したかき氷です。夏の暑さも手伝ってどの子も夢中になって作り、ランチの時点で今日はかき氷はしないの?と聞いてくる子もいました。こちら自分が好きなシロップやフルーツをたくさんトッピングし、中には3杯もおかわりする子もいました。

遊びの中では様々な工作が人気でした。スタッフが編んだ毛糸のコースターに得意な刺繍をしてくれた子や、以前学童で習った輪ゴムで作るブレスレットをスタッフに教えてくれた子もいました。



©World Vision

スタッフと子どものコラボ作品

子どもたちが自ら好きなことや得意なことを発揮してくれたことや、スタッフも知らなかった新たな一面を知ることができたのも、この夏の印象的なできごとでした。

～初めての夏イベント、夕涼み会を開催しました～



ヨーヨー釣りに真剣に取り組む様子

8月末には夏休みのイベントとして、町会会館をお借りし夕涼み会を開催しました。いつもの遊びに加え、卓球やストラックアウト、ヨーヨー釣りに花火と盛りだくさんの内容でした。

いつもより大規模な開催ということで、今回は中野区の若者の居場所「まごころドーナッツ」のみなさんにもボランティアとして参加していただきました。また、夕食は中野区の子ども食堂「あーちのめし処」さんに、焼きそば・フランクフルトを提供していただきました。子どもたちも「野菜がシャキシャキしていておいしい!」とたくさんおかわりして、大満足な様子でした。



おいしい焼きそばとフランクフルトを提供いただきました

子どもたちが一番楽しみにしていたのは花火大会です。夕方から雨が降り始め一時は中止の危機でしたが、子どもたちからの熱い要望もあり小雨になったところを見計らい実施することができました。中には家の周りでは花火ができない子や初めて花火をする子もいたようで、最初はこわごわでしたが少しずつ安心して楽しめるようになった様子が印象的でした。保護者の方もたくさん参加してくださり、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

いつも利用してくれている常連さんからからはじめましての子まで、たくさん子どもたちと夏ならではの時間を過ごすことができました。また顔見知りではない子どもたち同士と一緒に遊ぶ様子も見られ、「みんなのへや」が子どもたちにとって新たな出会いの場になっていることを嬉しく思います。



©World Vision



©World Vision

吹き上げ花火には子どもたちから大きな歓声が上がりました

～スタッフからひとこと～

「みんなのへや」が始まってから一年が経ったこの夏に、地域の皆さまのご協力を得て初めての夕涼み会を開催し、多くの子どもたちに楽しんでもらえたことを嬉しく思います。台風の影響もあり、予定通りに開催できない日もありましたが、子どもたちにとって夏の思い出のひとつになったのではないかと思います。これからも皆さまのあたたかいご支援に感謝しつつ、子どもたちの大切な居場所として、また子どもたちに豊かな体験や機会を提供する場として「みんなのへや」を続けていきたいと思ひます。 (須田・山下)

